



美しい白岡を引き継ぐ若い力

中村ただし

vol. 4

令和5年
2月1日

村ただしの選挙公約が遂に実現 住民票のコンビニ発行導入でますます便利に！

昨年も、中村ただしの活動に多大なるご支援・ご応援を賜りまして、誠にありがとうございました。新年を迎えて早くもひと月が経とうとしていますが、皆々様のご多幸を心よりお祈りました。申し上げますとともに、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。 中村ただし

中村 ただし

私は4年前の市議会議員選挙の公約「幸せ市政アラン」の「情報通信都市しらおか」において、「近隣自治体でも急速に普及している戸籍謄本や住民票のコンビ一発行の導入を強力に推進し、市民の皆様の利便性を高めます」とお約束させていただきました。その実現を目指し、当選後に最初の一般質問（令

んでしたが、若干の変化が感じられました。明らかに市の姿勢が軟化していたのです。その理由としては、マイナンバーカードの普及率が当時4割程度まで向上していたことと、当時発足したばかりの岸田内閣が「デジタル田園都市国家構想」の実現を国民に約束していたことの2つが挙げられます。

当時はまだマイナンバーカードの普及率が1割程度だったことを理由に、市からは積極的な答弁をいただくことができませんでした。しかし、めげずに不屈の精神で委員会・全員協議会の質疑で機会があることにこのテーマを取り上げ、粘り強く市に働きかけを続けてまいりました。令和3年12月議会の一般質問であらためてこの問題を取り上げたときにも、相変わらず市からは導入を約束する答弁はありませんでした。

信でのテーマについて広く周知させていただきとともに、続く令和4年（昨年）3月議会では「アシタル田園都市国家構想」に基づく国の予算を活用できなかいか」という趣旨の一般質問を行いました。この質問に対しても、なんと「アシタル田園都市国家構想」推進交付金等を活用し、住民票や印鑑証明書を「ハビニ」で取得できる環境の整備を検討したいとのきわめて積極的な答弁があり、すぐに「ハビニ」

発行導入のための補正予算がつきました。その後、
昨年6月議会で導入に向けた予算の拡充、昨年9月
議会で必要な条例改正が行われ、遂に昨年12月議会
では、晴れて「令和5年2月1日よりコンビニ発行
を導入する」との行政報告が行われたところです。
私は、4年越しの公約実現に胸が熱くなるとともに
に、政策実現にご尽力・ご協力いただいたすべての
皆様に心より御礼申し上げます。今後は、マイナン
バーカードさえあれば日本全国のコンビニで住民票
をご取得いただけます。是非ご活用ください!

印鑑証明書もコンビニで取得可能に
(市の広報ビラ 令和5年1月)